

# 第3回委員会の主な検討内容

## (1) 武蔵野市民科の目標について

- ①（目標の中に学習過程を示していることについて）課題を見つけ、解決していくことは新学習指導要領でも大切にされていることであり、目標の中に入っていることよい。
- ②課題を見つけ、解決していくときに「武蔵野市民として」という部分があると、「武蔵野市民科」としてやる必要性が出てくるのではないか。
- ③小学生だといきなり課題をもつことが難しい部分もある。興味・関心をもつところから始まるといったことも必要になってくるのではないか。
- ④「解決しようとする」という部分については、解決して答えがでるといったものではなく、色々な意見交換を通して、よりよい解決を見つけたいという視点が入るとよい。
- ⑤武蔵野市の特徴をいかに子どもたちに伝え、武蔵野市を好きになっていくか。大人にも市民科に関わる意識をうまく伝えていきたい。
- ⑥目標等は、小中連携教育研究協力校の実践も踏まえ、練り上げていけるとよい。また、実施時には、各学校ごとの実態に応じて重みづけし、目標を設定していくことになるのではないか。
- ⑦資質・能力（市民性）とあるが、目標の中にカッコ書きがあると混乱を及ぼすのではないか。解説の中に入れていけるとよい。また、目標は子どもたちが覚えられるようなものがよい。

## (2) 武蔵野市民科に関連する取組事例（第五中学校の実践）について

- ① 6、中1・2も参加し、双方向の形で行っているところが大切。
- ② 武蔵野市が抱えている喫緊の課題に子どもたちが目を向けているところに非常に価値がある。
- ③ ダイナミックにじっくりと子どもたちが取り組み、自ら動くような促しをしていくことが大切。
- ④ 課題設定やテーマをどのようにもたせるかが大切。

## (3) 武蔵野市民科で育みたい資質・能力について

- ① クリティカルシンキング（批判的思考）は、吟味する、分析するという意味合いが強いのだと思う。非難とは違うことをしっかり押されられるとよい。
- ② 他者理解について、多様性、多文化を受け入れていく姿勢の涵養といったことが大切になってくるのではないか。
- ③ 9つの枠組みがそれぞれ連関していることを図として表せるとよい。